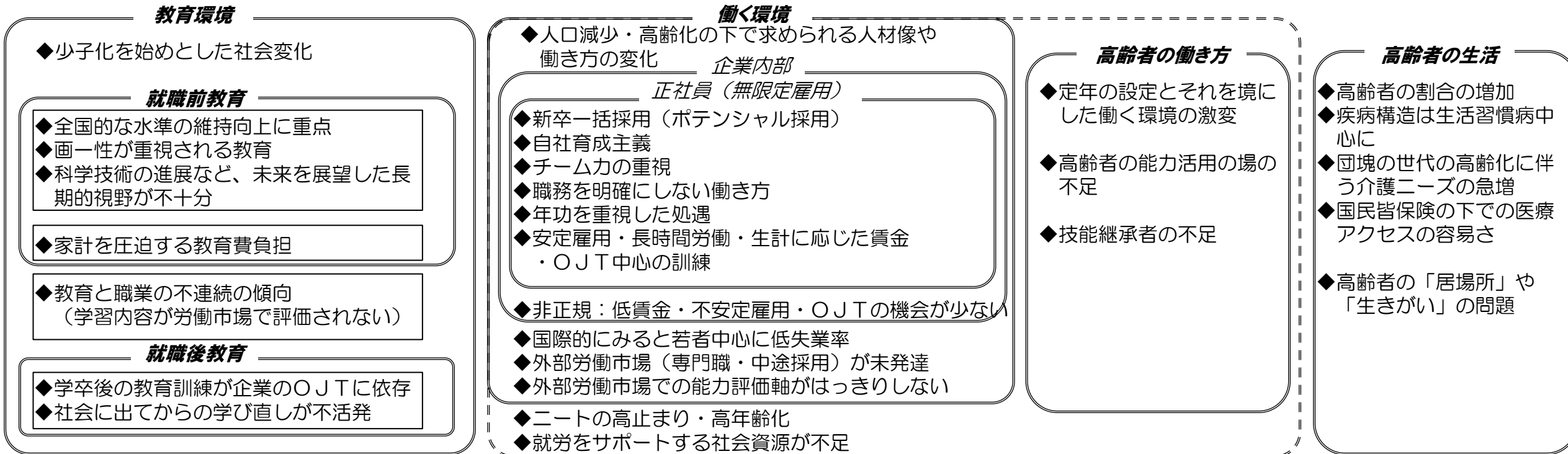


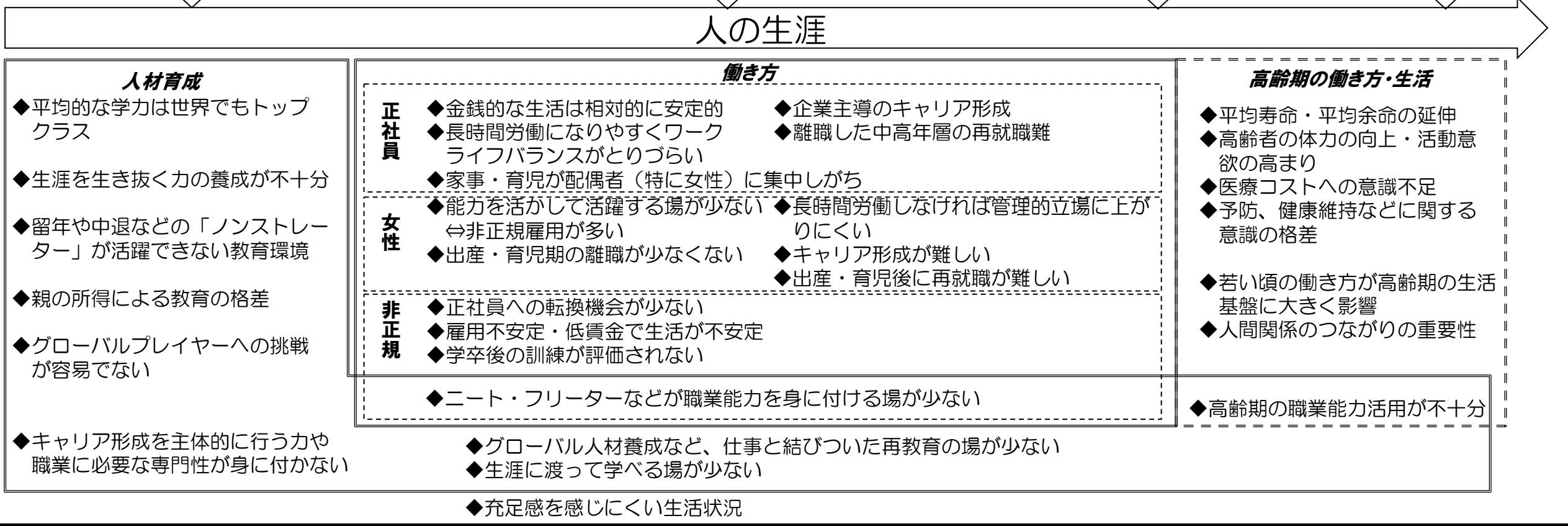
「人の活躍」に関する現状マップ（イメージ図）

戦後高度成長期を経て培われてきた経済社会モデルに最適化した人材育成と労働市場

社会のしくみ



人の現状



社会の課題

- グローバル化
- 少子化・人口減少
- 地域の存続
- 安定的な経済成長
- 格差の拡大
- 社会保障負担の増加

未来を見据えた「高齢者の働き方・生活」に関する論点

現状

高齢者の働き方

- ◆定年の設定とそれを境にした働く環境の激変
- ◆高齢者の能力活用の場の不足
- ◆技能継承者の不足

高齢者の生活

- ◆高齢者の割合の増加
- ◆疾病構造は生活習慣病中心に
- ◆団塊の世代の高齢化に伴う介護ニーズの急増
- ◆国民皆保険の下での医療アクセスの容易さ
- ◆高齢者の「居場所」や「生きがい」の問題



高齢期の働き方・生活

- ◆平均寿命・平均余命の延伸
- ◆高齢者の体力の向上・活動意欲の高まり
- ◆医療コストへの意識不足
- ◆予防、健康維持などに関する意識の格差
- ◆若い頃の働き方が高齢期の生活基盤に大きく影響
- ◆人間関係のつながりの重要性
- ◆高齢期の職業能力活用が不十分

社会のしくみ

人の現状

○「高齢者の働き方・生活」に関する論点

➤ 労働力人口が減少し、その年齢構成が高齢化していく中で、年齢にかかわらず働くことができる社会

- ・体力等に応じた多様な働き方
- ・現役時代からの能力に応じた処遇と働き方
- ・労働者が職業能力を更新し、働き続けられるような職業能力の開発
- ・高齢者が活躍する場の創造

➤ 高齢者が健康で生きがいを持って安心して暮らせる社会

- ・健康寿命の延伸（現役時代からの生活習慣病等の予防や、高齢期の社会参加など）
- ・社会サービスやコミュニティの果たすべき機能（孤立リスクへの対応など）
- ・これからの社会保障の在り方